PAT-NO: JP361120964A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61120964 A

TITLE: MOLD PROOF TEST PAPER

PUBN-DATE: June 9, 1986

### **INVENTOR-INFORMATION:**

NAME COUNTRY

ICHIKAWA, EIICHI YOSHIMURA, KENJI

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

KK ICHIKAWA KENSOU N/A

**APPL-NO:** JP59241612

APPL-DATE: November 17, 1984

INT-CL (IPC): G01N033/00 , C09J007/02 , G01N033/32

US-CL-CURRENT:  $\underline{422}/\underline{56}$  ,  $\underline{422}/\underline{58}$  ,  $\underline{428}/\underline{354}$  ,  $\underline{428}/\underline{355AC}$  ,  $\underline{435}/\underline{32}$  ,  $\underline{435}/\underline{34}$  ,  $\underline{435}/\underline{256.8}$  ,  $\underline{435}/\underline{805}$  ,  $\underline{436}/\underline{169}$ 

## **ABSTRACT:**

PURPOSE: To enable the execution of a <u>mold</u> proofing test accurately and simply, by applying a point containing an <u>mold</u> proofing agent on the surface of a mount paper to provide an adhesive agent on the back thereof.

CONSTITUTION: A test material layer 2 containing a <u>mold</u> proofing agent is applied on the surface of a mount paper 1 and an adhesive agent layer 4 is provided on the back of the mount paper 1. The mount paper 1 is preferably water absorbable. The adhesive of the adhesive agent layer 4 preferably employs an water acrylic emulsion based one having nitrogen source and other inorganic salts added thereto. The <u>mold</u> proofing test paper thus obtained can be put tight on the place where mold develops thereby allowing a mold proofing test in the

almost the same environment as that where a <u>mold</u> proof paint is applied. Thus, the results of the test is accurate and can be done simply.

COPYRIGHT: (C) 1986, JPO&Japio

# ⑫公開特許公報(A)

昭61-120964

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)6月9日

G 01 N 33/00 C 09 J 7/02 G 01 N 33/32 7906-2G 6770-4J 7906-2G

審査請求 有

発明の数 1 (全4頁)

**図発明の名称** 防カビ試験紙

②特 願 昭59-241612

**愛出** 願 昭59(1984)11月17日

砂発 明 者 市

**米** 一

東京都大田区上池台4丁目24番21号

**砂発明者 吉村** 

建 治

東京都大田区石川町2-13番1-202東京都大田区上池台4丁目24番21号

⑪出 願 人 株式会社 市川建装 ⑫代 理 人 弁理士 津 田 昭

Ш

109 Am ee

- 1 特明の名称 防力ビ試験紙
- 2 特許構求の興団
- (1) 台紙、この台紙の表面に設けられた試験材 各種、およびこの台紙の裏面に設けられた接着剤 番からなることを特徴とする助力と試験紙。
- (2) 台紙の安面に設けられた試験材料層が、助 カビ剤を含む電料製であることを特徴とする特許 関求の電器器:項に記載の助力と試験紙。
- (3) 合紙の製面に設けられた試験材料機が、少なくとも2関所に設けられており、その少なくとも1関所は助力ビ列を含む物料機であり、他の少なくとも1関所は助力ビ列を含まない同様の物料機であることを特徴とする特許環次の範囲第1項または第2項に花動の助力に試験紙。
- (4) 合統の裏面に設けられた受情報増が、合紙 との複数節の反対面に対解紙を有しており、そし てカビの役券がを含むことを特徴とする特許研究 の類別第1項ないし第3項のいずれかに記載の防 カビ試験紙。

- (5) 合転が、名詞であることを特徴とする特殊 術求の範囲部1項ないし割4項に記載の妨力には 執紙。
- 3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本預明は、切力ビ密科に使用する助力と対の力 との発生の防止効果を試験する助力と試験紙に関 し、さらに詳しくは、助力ビ密科に使用する助力 ど可において、力ビの発生の若しい場所における 助力と効果を簡便な手段によって的概に試験する ことのできる助力と試験紙に関する。

(発明の背景および従来技術の説明)

ことのできる好力と作の他なにおける防力と剤を 治定することは非常に知かしいのである。このた めに、助力に食料に瓜入する助力に弱の助力に効 県を試験する方法として、 20種に近いカビに対 する助力に効果を試験する日本工業規格 JIS Z ー 29!1 - 1981 が定められているが、本発明者らは、 この日本工業現格の試験に合格した助力ピ剤を使 用した助力ピ強料を使用しても、カピの発生を助 止することのできない事例に再三遭遇した。カピ は微生物の中でも生命力の強いものが多く、また 一般に、彼生物は生育する保護条件によって生育 しうる改生物の健康が異なるが、改生物の種類に よって、助力ビ剤に対する抵抗性も異なるので、 本発明者らは、カビの発生している興場からカビ を採取して、そのカビに対して有効な妨力ビ系を 徴料に励入した助力と徴料を使用して、カビの発 生を防止することに成功した。しかしながら、改 生物は、その種類によって、生育に通する環境条 件が異なるので、本箱明巻らは、前記の防カビ剤 の居定において、カビの発生している與場から採

取したカピの生育に高するのは条件をも出する場合をはませたのでは条件において生育しているカピに対する助カピ研の助カピ効果の試験の及方の試験を行なうことを余儀なくされた。そこで本発明をらは、カピを採取する現場において防カピ対の助カピ効果の試験を行なえば、カピの生育に選する環境条件を免出すための試験をする必要のないことに気付き、その環境における試験を開発に行なうことのできる試験用品の関発を企図して、本発明に登進したのである。

#### (発明の自的および発明の長的)

本発明の目的は、カビの発生する風場において、 助力ビ剤の助力ビ効果を簡単にして的値に試験す ることができる助力ビ試験用品を提供することに ある。

本発明のもうしつの目的は、カビの発生する叫 場における切力に利の防力に効果の試験の結果を 速やかにして的値に知ることができる防力に試験 用品を提供することにある。

本苑明は、台紙、この台紙の表面に設けられた

仏教が取り、およびこの合紙の優価に設けられた
使用用的からなることを特殊とする助力には験託
である。本発明の助力には験紙における試験が
をいめる。本発明の助力には験低における試験が
をいめらに、その過度する場所に、助力に利を含まな
いもらに、その過度する場所に、助力に利を含まな
いもらに、その過度する場所に、助力に利を含まな
いもる。また本発明の助力に試験低における
使物
研制に、力にの栄養療を含ませることができ、
らに本発明の助力に試験紙の合紙として、試験を
表唱する者の住所、氏名および連絡先を紹入した
名明を使用することができる。

### (角明の具体的な説明)

本利明の切力とは映紙は悪 1 図から第 4 図に示される時間を育する。図面において、 1 は合紙、 2 は、合紙 1 の表面の筋力と利を含む試験材料場、 4 は、台紙 1 の裏面の般着時間、 および 5 は、 飛伸剤 4 4 の表面の刺離紙である。本税明の防力と は映低には、 第 2 図に示すとおり、 合紙 1 の表面の助力と利を含むな験材料は 2 と異複する位置に、 防力と利を含まない試験材料は 3 を設けることが

T 8 6.

本格明の妨力ビ試験紙における合紙しは、その 交通および度面に助力に新を含む試験材料層 2 お よび疫毒剤瘤4を保持することができるものであ れは、いかなる紙質のものであってもよいが、水 分が存在する場合に、吸水することのできる転収 のものであることが好ましい。また疫養剤療4が、 カビの栄養成を含むものである場合は、水分が存 任する場合に吸水することができ、また水分が収 面から裏面に、そして裏面から安面に移動しうる 程度の进水性のある紙質のものであることが特に 好ましい。台紙1が前述の吸水性および透水性を 句する紙質のものである場合、被償司者 4 に含ま れるカビの災害欲が合航!に吸収された水分によ って梤出され、そして啓出されたカピの栄養師が 台紙1の裏面から表面に移動する水分とともに攻 価から表面に移動して、合紙1の表面の助力ビ网 を含むは繋が移植でおよび助力に削を含まないは **ぬけむ除るに到途することができ、それによって** は終び診断 2 および 3 におけるカピの生母が加速

されるので、延載材料的2 に含まれる助力ビ系の 助力ビ物理の再定がより客談的で的機に行なうこ とができる。

は飲む祭母2 および3 におけるは飲む祭は、助かに用を含むか色か以外においては同一の晩春であるべきであり、それによって助力とは飲の対象の助力と関の助力に効果を、より医療的に、かつ的値に再定することができる。

肌に加えて使用する。

端度アンモニウム 3.0 g リン酸ーカリウム i.0 g 硫酸マグネシウム 0.5 g 塩化カリウム 0.25 g

本名明の助力と試験紙における合紙1は、項3 図および第4図に示すとおり、その変面に、試験 材料用2を設ける以外の会自部分を設けることが でき、その会自部分に、氏名を印刷して、助力に 試験紙を名詞として使用することができるように すること、または、その会自部分に、助力と試験 紙の使用伝またはその他の注意型きなどを印稿し て、その使用を的概に行なうことができるように することもできる。

本発明の助力と試験低は、防力と処理を行なう 場所に貼り付け、助力と利を含む試験材料層2の 設けられていない余白部分に力とが密生するまで、 放躍して試験を行なうが、助力と利を含まない試 数材料層3を助力と概を含む試験材料層2と共に

及けた場合は、物力と利を含まない試験な料が3に力とが密生するまで、切力と試験低を助力と処理を行なう場所に貼り付けたままに放置して試験を行なう。これらの試験において、助力と利を含む試験材料を2に力とが発育すると、その試験材料の2に含まれる切力と利は、助力と利を含むは象材いて効果があることはいえないが、助力と利を含むな料でしているにも向わらず、助力と利を含む試験材料を2に含まれる切力とが、の力と処理において効果があるのである。

#### (発明の効果)

本名明の助力とは終紙は、カビの発生する場場に必要することができるので、助力とを科をを任 したのと時々周然の環境において助力とは終を行 なうことができる。したがってこのは終の初果は 的風であり、かつ、そのは験方法も閉血であると いう利点がある。

本の明の切力とは負託において、防力と例を含

ひ 食祭の基礎な経過および切力と例を含まない を 終の基礎な時間を知過に設けることによって、 を 終そのものの動力と生を知ることができるのに加 えて、助力と所の動力とも異を的値に知ることが できる。

本発明の助力とは触転において、優勢削減に力 との集場原を含ませると、力との生育が促進されるので、は軟の管理を最く知ることができ、さら に力との生育に対してより好ましい。環境条件が与 えられているので、その助力と効果の判定はより 的顔はものである。

本発明の助力と試験低において、合成を、は検 を表慮する者の住所、氏名および遅ら先を犯入し た名句とすると、試験を異様する者が現場に常転 しない場合であっても、その試験の特集を早息に 知ることができる利点がある。さらに、合紙の会 自部分に試験方法を奪いておくと、試験を異相す る場が現場に常駐しなくても、試験を別値に行な うこともできる利点がある。

さらに本格明の訪カビ試験紙において、遅前の

吸り材料の台域と反対の面に測電紙を取り付ける と、防カビ球機紙の得ち返びを関心に行なうこと ができ、さらに防カビ球験紙の現場における取り 付けを開準に行なうことができる利点もある。

#### 4 返頭の耐塩な説明

取1団は、本角明の動力には映転の一例の同面 図、第2図はその平面図、第2図は本角明の他の 一例の製価図、および第4図はその平面図である。

#### 1:台纸

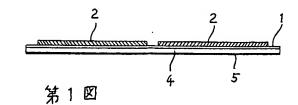
2:防力比例を含む試験材料層

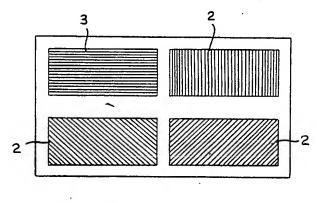
1:防力に弱を含まない試験材料機

4:股級期間

5 : 20 48 45

出城人 铁式会社 市川镜多





第2図

